

FP-32N (長くご使用いただくために)

使用上の注意 お客様に快適なご旅行を楽しんでいただくためにご使用前に必ずお読みください。

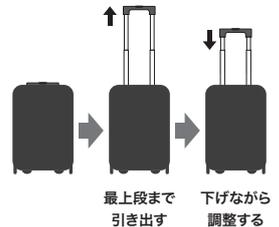
- 施鍵・開鍵の際は、鍵を必ず奥まで差し込んで、施鍵・開鍵を正しく行ってください。
- 過剰な収納物を入れ無理な施鍵をいたしますと錠前破損の原因となりますのでご注意ください。
又、過度に重いものを入れる事や、無理な詰め込み等はお避けください。
- 階段や段差のある場所で使用し、キャスター部に強い衝撃を与えやすくと破損や不具合の原因となりますのでご注意ください。
- ケースやファスナー開閉時に、錠前部分やかみ合わせ部分で手や衣類などをはさまないように、十分ご注意ください。
- ケースは防水ではありませんので、雨天時での取り扱いには十分注意してください。
- 内部に雨水がしみ込む事がある為、雨中に放置する事はお避けください。
- 現金や貴重品の保管にはお使いにならないでください。現金や貴重品は身に付けて携帯される事をお勧めいたします。
- ロック機構は不用意なケースの開閉を防止するためのものであり、ケース自体の盗難を防止するものではありません。
- ケースをストーブや火気のそばなど高温になるものに近づけないでください。ケースが変形、変質するおそれがあります。
- ケースを放り投げる、高い場所から落下させる、又、イス代わりにする等本来の目的以外の使用は過度の外力がかかります。
ケースが破損するおそれがありますので、十分ご注意ください。ご使用により生じたキズや凹み等を修理で完全に修復することはできません。
- ケースを持ち上げる際は、必ず本体のグリップをお持ちください。

ドライブハンドルのお取り扱いについて

- ドライブハンドルを下方向に力を入れながら、バーを揺らしますと、止め具が外れ、ドライブハンドルが下がってしまう場合がございます。またハンドル自体が破損する可能性もございますので、十分ご注意ください。



- 多段調整式ドライブハンドルの長さ調整は、一度ハンドルを最上段まで引き出していただき、下げながら長さの調整を行ってください。



- ドライブハンドルは走行の際に使用するものです。ドライブハンドルでスーツケースを持ち上げることはお止めください。ハンドル自体が破損する可能性がございます。スーツケースを持ち上げる場合は必ず本体のハンドルを利用してください。



- ドライブハンドルには多少のあそびを持たせておりますが、これはハンドルの動きを円滑にするためのものです。

お手入れ・保管の方法

- 定期的に、車輪やキャスターの回転部分に少量の潤滑油をさす事で動きをスムーズに保つことができます。
- 変色や変質のおそれがありますので、お手入れの際はシンナーやベンジン等の溶剤を含むもののご使用はお避けください。
- ご使用の後は、汚れを固く絞った布でふき取ってください、保管の際は通気性のよい場所を選び、陰干して保管してください。

製品加工上の特性

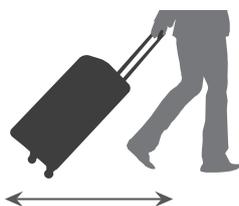
キズのような細かい線が樹脂表面に見られるものがありますが、成形を行う際の特性としてご了承ください。アルミフレームにはアルマイト加工を施してあります。アルマイト加工の特性上、光線の加減により若干の色の変化が見える場合があります。

キャリーバッグを安全にお使いいただくために

キャリーバッグは使い方に注意を払わないと、他人にぶつけてケガをさせてしまうことがあります。



●キャリーバッグは自分で思っている以上の長さをとっています。それを常に意識し、回りの安全に配慮しましょう。



- 駅などの人の多い場所や混雑している場所では、自分の引いているキャリーバッグが周囲の視界に入らなかったり、気づかれにくくなっています。できるだけ引かず手で持ったり、引く場合であっても自分の近くに寄せて引きましょう。



- 階段や電車の乗降口など、段差のあるところではキャリーバッグを引かず手に持ちましょう。



- エスカレーターなどに置く場合は、万が一に備え落下しないように充分注意しましょう。落下すると重大な事故につながる恐れがあります。

